



第3部 官庁訪問を知ろう！



第3部 官庁訪問を知ろう！

この第3部では、経験しなければなかなか掴めない官庁訪問の実態をお伝えします。前半では環境省の官庁訪問の基本的な情報を、後半では春季と夏季の官庁訪問参加者に分かれて行った座談会の記録をまとめています。官庁訪問前の準備にお役立てください。なお、掲載している情報はあくまで令和6年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から作成されたものであり、次年度以降の官庁訪問の形式や内容は以下と異なる可能性があります。

■官庁訪問（総合職）の基本情報

令和6年度官庁訪問は、春季（6月上旬）と夏季（6月下旬）の2度実施されました。環境省では、第1クールのみ対面形式とオンライン形式の選択制、第2クール以降は対面形式で実施されました。春季は、技術系区分の既合格者を対象として6月上旬に全3クール、夏季は、6月中旬と下旬に全4クールで実施されました。最新の詳しい官庁訪問の日程やルール等は、人事院のWebサイトでしっかり確認しましょう。以下、官庁訪問の流れや面接、服装、基本データなどについてまとめます。

■官庁訪問（総合職）の簡単な流れ

官庁訪問前

環境省Webサイトから官庁訪問申込票等をダウンロードし、記入します。その後、指定された期間中にその文書を添付して指定のアドレスにメールを送ることによって、官庁訪問の予約を行います。

官庁訪問期間中

令和6年度は、第1クールのみ対面形式とオンライン形式の選択制で実施されました。対面形式の場合は、庁舎の待機室でメールを待ち、メールの指示に従って指定の面接室に移動して面接を受けます。オンライン形式の場合は、通信環境を整え、メールの指示に従ってオンラインルームに参加して面接を受けます。過去には、面接だけでなく集団討論が行われたこともあります。面接は、複数日程に渡り、日によって形式が異なる場合もあるので臨機応変に対応しましょう。

官庁訪問最終日（最終クール）

内々定！

■官庁訪問（総合職）の面接

面接回数は人によって異なりますが、複数回行われます。面接では官庁訪問申込票を基に質問されたり、自己PRを求められたりします。加えて、採用イベントでは聞くことが難しい具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。

面接時間は、1回あたり約30-60分間です。面接終了後から次の面接に呼ばれるまで時間があるので、その間は面接の振り返りをしたり、ノートや申込票を見直したりして、次の面接に備えましょう。

また官庁訪問の終了時刻は、官庁によって異なりますが、環境省は比較的早い時間帯に終了することが多いです。

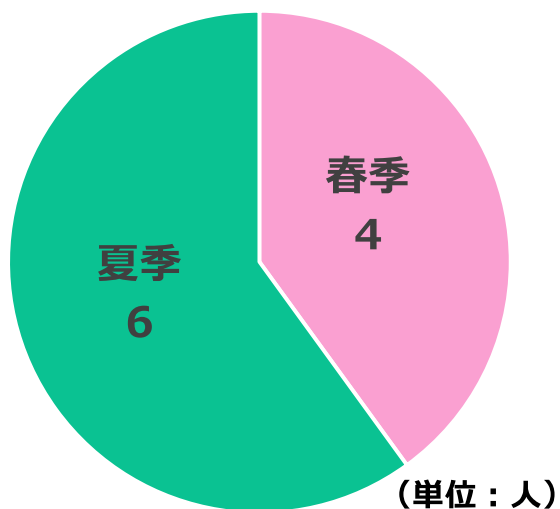
■官庁訪問（総合職）の服装

クールビズが集中的に実施されている期間に官庁訪問が行われることから、訪問者に対しても軽装が推奨されています。そのため、半袖シャツを着たり、ネクタイを外した状態で面接を受ける訪問者も少なくありません。もちろん、体温調節や気持ちの切り替えのため、ネクタイやジャケットを着用している訪問者もいます。



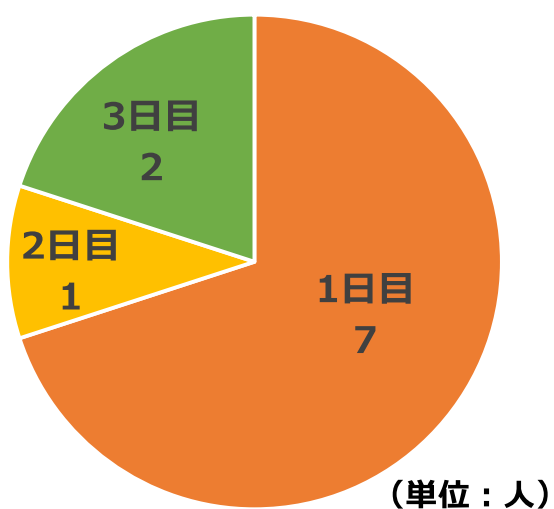
■官庁訪問（総合職）の基本データ

官庁訪問時期



官庁訪問は例年通り春季と夏季の2度実施されました。

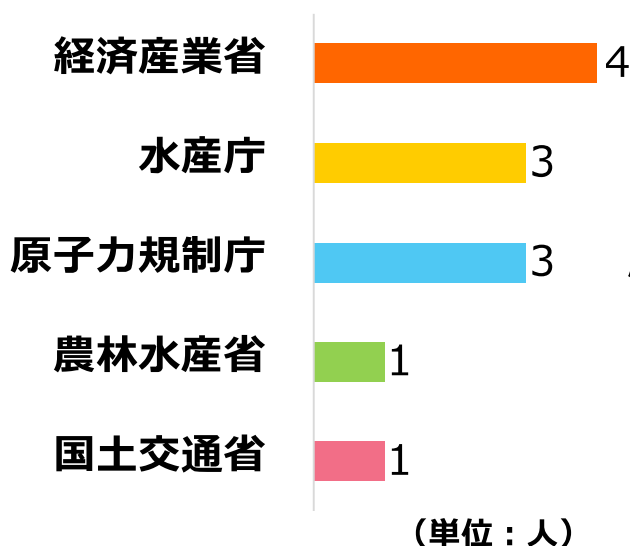
環境省の初回訪問日



2日目、3日目に訪問した内定者もいました！

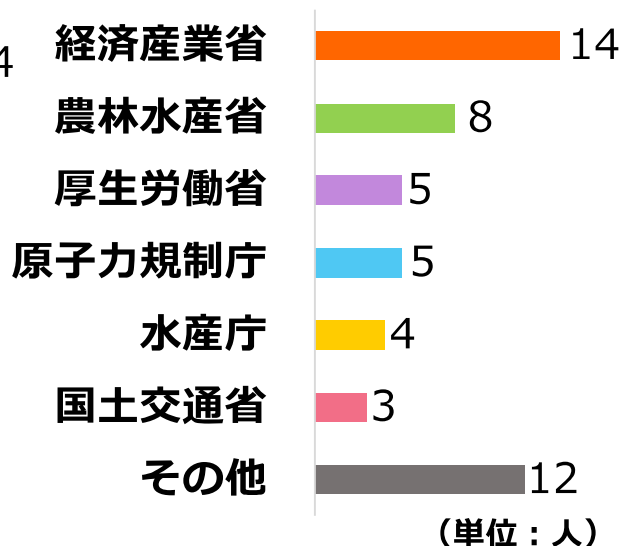
併願した省庁

令和7年度入省予定内定者



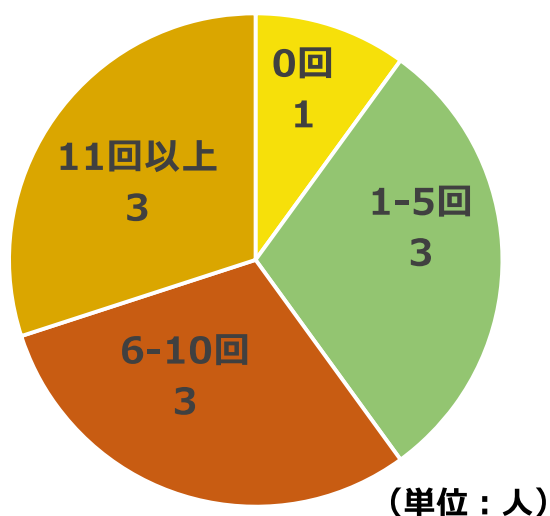
※ 複数官庁の併願を含む。

過去5年間



※ その他：気象庁／特許庁など。
※ 複数官庁の併願を含む。

説明会参加回数



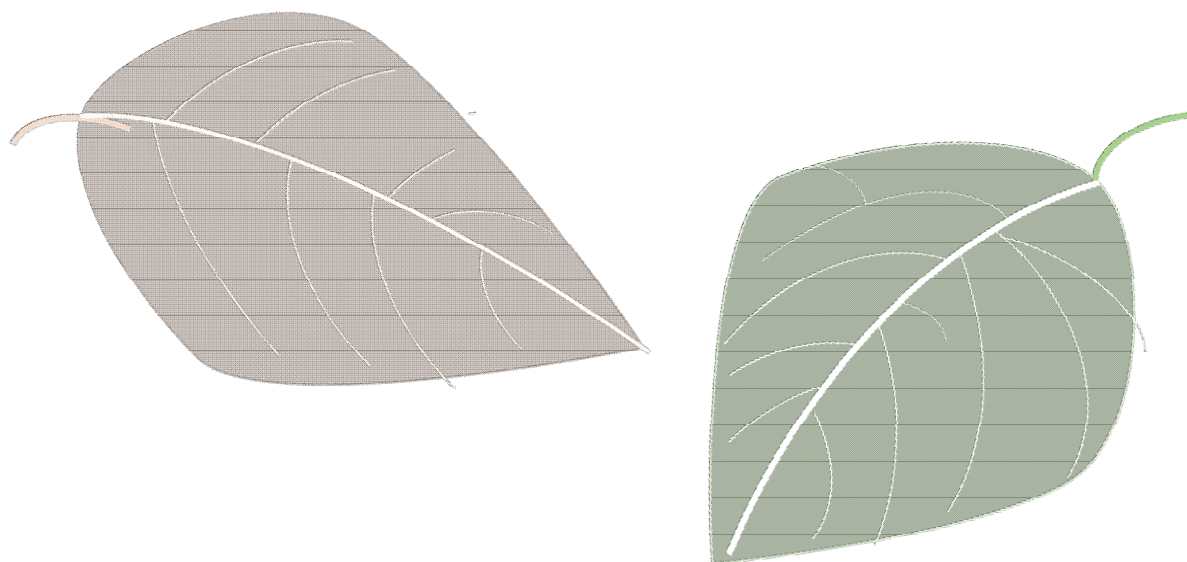
10人中9人が1回は採用イベントに参加しており、6人は6回以上参加していました！20回以上参加している人もいました！

主な併願進路

都道府県庁、独立行政法人、研究開発法人、環境系メーカー、環境系コンサルタント、環境系シンクタンク、IT企業、博士課程進学など。

ここまでは、官庁訪問の概要や基本データについて記載してきました。いかがだったでしょうか。それでは、次のページから座談会のパートになります！

令和7年度入省予定の内定者による座談会で、官庁訪問の準備や官庁訪問中の様子などについてお伝えできればと思いますので、ぜひお楽しみください♪



■ 春季官庁訪問参加者による座談会

座談会メンバー

- ・ **ぱんだ2** (春) : 24歳／男性／兵庫県出身
- ・ **緑茶** (春) : 24歳／男性／京都府出身
- ・ **焦チズケ** (春) : 23歳／男性／宮崎県出身
- ・ **とんかつ** (春) : 23歳／男性／群馬県出身

[1] 環境省や環境政策についてどのようにして調べた？

- 焦チズケ** 自分の場合、調べたっていうよりは、**説明会で聞いて知識を拾ってきた**感じだったな。ネット上で、環境省のポリシーなどを確認したけど、基本は、説明会かな。
- とんかつ** **自分も採用イベントは大事で、勉強の軸になった**と思う。ただ知識として知っているだけではなくて、**実際に働いている人の話を聞くことができるのは、採用イベントのよさだ**と思う。
- 緑茶** 当日の説明だけじゃなくて、説明会でもらったスライドも活用して、芋づる式に勉強したりもしたな。
- ぱんだ2** 自分も採用イベントに参加するモチベーションは環境政策の勉強のためだったな。**本で理論を勉強して、実務を採用イベントで勉強したのが良かった**と思う。
- 緑茶** あとは事務系の採用イベントだけどMOEトークにも参加して勉強したよ。オンラインで聞くだけでも大丈夫だから、気軽に参加できた。
- とんかつ** インターネットで『**環境省重点施策集**』を見つけて、**気になったところを職員訪問のときに聞いたり**もしたな。
- 緑茶** 自分も『環境白書』は読まなかったけど、『環境省重点施策集』と『環境基本計画』は読んだな。あと、OB・OG訪問した。
- とんかつ** 自分場合は**OB・OGがいなかったけど、代わりに職員訪問をした**よ。関心のある分野の職員さんに対応してもらえたので良かった。
- 焦チズケ** そんな制度もあったんだ。自分も職員訪問すればよかったなあ。
- とんかつ** 職員訪問が官庁訪問の対策にもなった部分はある。実際に施策の話を聞いたり、自分の考えを述べたりもしていたから。
- 緑茶** 少し話が変わるけど、そういえば、**日頃からニュースを見ていたよ。日課で、ネットニュースで「環境省」と調べていた**。今も続けているよ。
- とんかつ** ニュースいいね。HP検索してみると時系列でまとめられてるし。
- 緑茶** そうそう。職員さんと話す機会があったときに、**直前に発表されたニュースのことを触れると、印象が良かった**と思う。

[2] 官庁訪問に向けてどのような準備をした？

- 緑茶 官庁訪問対策は入念にしたよ。**日頃からどの分野にも興味をもてるように、自分で経験することを大事にしたし、自分の目で見えることを意識した。**そのおかげで、官庁訪問で話すエピソードをつくることができた。
- とんかつ 言葉だけでなく、経験を基にしたエピソードを話す感じ？
- 緑茶 そんな感じ。それが対策になったな。
- とんかつ そう言われると確かに、**福島にいったエピソードは、結果的に好印象をもってもらえた**と思う。
- 緑茶 あとは**環境省が主催するイベントに参加して、自分が感じたことを話せるようにしたよ。**
- ぱんだ2 そっか。。思えば自分はあんまり何も準備していなかったな。。
- 焦チズケ 自分も何も準備をしてなかったけど、**普段の研究で色んな人に現地でインタビューをしていることが、結果的に官庁訪問の対策につながっていたかも。**
- 緑茶 あ、でも、面接練習とかはしてなかった。
- とんかつ 面接練習をしなかったのは、確かに。官庁訪問は、面接という感じではないもんね。
- 緑茶 ディスカッションみたいな感じだったね。官庁訪問のことを意識して、**説明会ではたくさん質問をするようにしてた。**説明会で政策内容を説明してもらって、その場で疑問に思ったことを質問する練習。それで、説明会が終わったら、**内容をノートにまとめて官庁訪問にもっていけるようにしていたよ。**
- とんかつ 偉いな。。レジュメにメモしただけで終わっていたので、官庁訪問直前に焦った記憶がある。**後で見返せるようにしておくべきだったと、今は思う。**

[3] 官庁訪問中の生活は普段とは違った？

- 焦チズケ あの時は**あまりにも理想的な早寝早起き**ができた（笑）
- とんかつ わかる。。**集合時刻が早い**から、普段起きていないような時間帯に起きて活動していた。
- 緑茶 北海道から来ていたから、やりづらい部分はあったな。友達の家泊まっていて、自分の家ではないのでリラックスするタイミングは難しかったかも。**風呂が息抜きになった。**
- ぱんだ2 早寝早起きに限る。あと、日中官庁訪問がある関係で、夜に大学に行くことになるので研究時間が減ったなあ。
- とんかつ 大学院生は、研究もあるし、教授につかまるからね。

[4] 官庁訪問中の食事はどんな感じだった？

- 緑茶 朝ごはんは、コンビニでパンを買って食べていて、昼ごはんのときには、クエン酸飲料をルーティンとして飲んでいたよ。昼ごはんは、全然食べなかった。夜も、結局、コンビニで買って食べていたと思う。家から参加した人は、自炊した？
- とんかつ 家から参加したけど、自炊はできるわけない（笑）コンビニが多かった。昼も夜もコンビニで不健康だった。緊張して喉が渴いて、飲み物をたくさん飲んでた。トイレにもたくさんいったと思う。
- ぱんだ2 自分の場合、昼ごはんは、地下の食堂にいつて食べていたかな。
- 焦チズケ すごいね。。食堂に行くメンタルはなかった。ラムネをもっていつて、面接の間にラムネを食べていた。お腹を壊しやすいので、脂っこいものは食べなかったな。
- とんかつ そういえば、ごはんの休憩時間は、かなり変則的だったね。
- 緑茶 ね。30分しかない日もあったよ。「短いけど、がんばってください」と言われた日があった（笑）
- とんかつ 昼休憩のピーク時はコンビニが混雑するので、ずらしてくれていたのかも。
- ぱんだ2 そういうこと？確かに休憩時間が昼休憩のピークを外れていたので、食堂も空いてたな。
- とんかつ 食堂にいつておけばよかったなあ。今だから言えることか。

[5] 官庁訪問中の宿はどんな感じだった？

- 緑茶 北海道から来たから、友達の家泊まっていたよ。ホテルの方がよかったけど、お金がかかるし。
- とんかつ 確かに。
- 緑茶 一人の時間が取れないけど、お金と天秤にかけて、お金が大事と思った（笑）

[6] 官庁訪問を通して、どれくらい費用がかかった？

- 緑茶 飛行機が往復で4万円、食費はコンビニ飯なのでかなり省けたな。
- とんかつ 飛行機は、早めに取った？
- 緑茶 既合格だから早めに予約できたよ。途中で落ちても、最後まで東京にいるつもりだった。そもそも官庁訪問の日程発表が5月なので、それ以上は早く予約できないのは困った。宿も友達の家泊めてもらったからよかったけど、遅く予約すると宿代も高くなりそう。
- とんかつ 交通費と飲食費、コーヒー代ぐらいかな。遠征組は10万円ぐらいかかるのに、東京にいる人は、1万円ぐらいで済むのは、差があるね。

[7] 何時に到着して何時に解散した？

ぱんだ2 官庁訪問は、**朝8時半集合**だったかな。

緑茶 自分は訪問者の中で一番到着が早くて、必ず30分前には到着していたよ。その直後にぱんだ2が来ていた記憶がある。東京の電車がわからなかったの、30分前のさらに10分前に到着できるようにしていた。

焦チズケ 第1クールに、10分前にいこうと思っていたのに、電車が止まってしまってギリギリに到着したことがあったな。。

とんかつ 確かにギリギリに到着してた覚えある（笑）自分は10分前に到着しても、地下のコンビニに寄ってから集合場所に向かっていた。けど最終クールは、15分前に到着したのに、既に他の全員がいて驚いたな。

ぱんだ2 第3クールは、集合時刻がちょっと遅かった気がするけど。

とんかつ それでもギリギリに到着（笑）

緑茶 終了時刻で言うと、**第1クールは15時には解散して驚いたな。**

ぱんだ2 僕も第1クールは、15時頃に終了したと思う。

とんかつ **自分の時は16時頃かな。官庁訪問は拘束時間が長いイメージがあったから、意外だった。**終わった後は日比谷公園でたそがれていた（笑）

緑茶 **第2クールの解散は、18時頃だった**と思う。

焦チズケ 確か、同じくらいの時間だったね。

とんかつ 人によって違うね。**自分の第2クールは、面接が忙しかった。**

緑茶 第3クールは13時半頃に解散して、みんなで日比谷公園で感想を語り合った思い出。

ぱんだ2 **全体的に、思ったより早かったなあ。**

とんかつ 他省庁では、夜遅くまで残されることもあると聞いていた。

緑茶 省庁によって形式も違うし、色々あるんだろうね。

[8] どのような服装・持ち物で訪問した？

緑茶 スーツで、気合いを入れるためにネクタイも締めていた。**環境省カラーのネクタイで訪問したよ。**

とんかつ 自分も**第2クールでは半袖**で訪問したけど、**第3クールではジャケット**を着ていった。

緑茶 面接で「なんでスーツ着てるの？」と聞かれたけど、気合いを入れるためと答えたこともあったな。

焦チズケ クールビズということは知っていたけど、怖くて**一応ちゃんとスーツ**を着ていったな。**結局、途中で脱いだけど（笑）**

- ぱんだ2** 自分も**気合いを入れるためにネクタイを締めてジャケットも着ていったけど、足が痛くて革靴は履いてなかった。**
- 緑茶** 斬新！
- とんかつ** そういえば、ぱんだ2はトートバッグで参加していたよね。こっちはガチガチのカバンだったのに。
- 緑茶** まあ、面接にはバッグをもっていかないから、そこまで気にしなくてもよさそう。
- ぱんだ2** カバンの中身は、どんな感じだった？
- 焦チズケ** もちろん**筆記用具とメモ帳、それとラムネをもっていった。**あと、飲み物とか。
- 緑茶** 僕はタブレット端末をもっていったよ。**タブレット端末で、説明会の時のメモやレジュメを見てた。**でも、省庁によってはタブレット端末を制限しているところもあるらしい。
- とんかつ** 自分はパソコンをもっていった。面接官の経歴や担当分野を事前に調べるときにも使っていた。

[9] 官庁訪問で困ったことは？

- とんかつ** 面接の間の時間がまちまちで、十分あればメモをできるけど、時間がないとメモできなかった。
- 緑茶** 僕も**時間があまりなくて、メモや頭の整理ができずに次の面接に行くこともあったな。**特に第2クールは忙しかった。
- とんかつ** 自分も途中ではできなかったから、**最後の出口面接で一日の振り返りをする時間があって、とてもよかった。**
- 緑茶** 途中でメモする時間がないと大変そう。あと、**エレベータでの移動が大変だった。階層によっては乗り継ぎが必要で難しかったね。。**
- ぱんだ2** 面接室の場所がわからないこともあったな。地図はもらっていたけど、奥の方の部屋に入りにくい雰囲気があったりして。。
- とんかつ** 確かに廊下から部屋に入って奥の方の部屋とかは、職員さんが仕事してるからちょっと気まずかった。
- 緑茶** そういえば、省議室が豪華だったね。偉い人の部屋って感じ（笑）
- とんかつ** 面接中のことと言うと、とにかく会話が止まることがしんどかった。
- ぱんだ2** それはそう。とにかく何か話さなくちゃと焦ったな（笑）
- 緑茶** 試されているように感じる質問なんかもあって、回答に苦戦したな。
- とんかつ** あと、**第1クールは年次が低い職員さんが多かったから、政策分野が絞られていて話に入りやすかったけど、第2クールからは、年次が高い職員さんが多かったから、色々なことを経験していて、却ってどこから話せばよいか迷った。**

緑茶 そういうときは、**自分の自信のある分野の話をするようにしていたよ**。エピソードを出しつつ、職員さんの話を引き出していた。困ったときは、自分のエピソードを出すことを意識していた。

焦チズケ 自分は、それまでに聞いていない分野に絞って、**一つの分野を深く聞くように心がけた**な。普段の研究が環境政策に関係がないので、官庁訪問を通じて初めて聞く内容が多かった。だから、深く聞くようにしていた。

とんかつ 自分も興味ある分野を深めたけど、その一方で、それ以外の分野に疎くなってしまった気もする。

緑茶 僕の場合は第2クールからは面接する職員さんの担当する政策分野が偏っていたので、それに特化するように意識した。

とんかつ 確かに、人によっては分野が偏っていたような気もする。おかげで福島復興について、より深く聞くことができた。

焦チズケ 自分は**入口面接のときに「まだ聞いていない分野について聞きたい」と言っていた**こともあってか、色々聞くことができて良かったな。

ぱんだ2 「資源循環について聞きたい」と言っていたが、なかなか当たらなかったな。でも強く言ってたからか、一回だけ面接させてもらえた。

とんかつ **入口面接で希望を言うことは大事**だと思う。

[10] どのようなところが高く評価されたと感じた？

ぱんだ2 **官庁訪問を通じての成長が見られていると聞いたことがある。**

焦チズケ 確かにそうかも。

緑茶 **雰囲気と真面目さ、全般的に興味があるか、が見られていたんじゃないかな。柔らかい雰囲気の職員さんが多いので、そういった雰囲気の人を採用される傾向があるかもしれない**。コミュニケーションの取りやすさにもつながっているのかも。あと、**知的好奇心や積極性を評価してもらえた**ような気がする。

とんかつ 確かに**積極性や雰囲気は評価されていそう**。あと、**自分は熱意を評価された**ように感じた。環境には詳しくないけど、わからないところはわからないなりに聞くことを意識していて、そこが熱意のアピールにつながっていたのかな。一緒に働きたいと思ってもらえるかどうかが重要なのかなと。

緑茶 どれだけ興味をもって話せるかは重要かもね。

とんかつ ちょっとずれるけど、官庁訪問申込票に「趣味：マラソン」と書いてて、「体力は大丈夫そうだね」と言われたので、それも、もしかしたら評価されていたのかも？

焦チズケ 申込票で言うと、**研究などで現場調整している点は評価されていた**かも。

とんかつ 環境省は現場主義と言われているので、現場調整能力やコミュニケーション能力は見られていそうだね。実際に受かった人は、みんなそこらへん高そうだし。

[11] どのようなところが不足していたと感じた？

焦チズケ **環境政策に関する基礎知識がなかった**ところかな。官庁訪問を通じた成長として見られたかもしれないが、もっと勉強しておけばよかったな。

ぱんだ2 自分は環境政策の理論や実務については勉強していったけど、**そもそもなぜ環境政策を行うべきなのかといった価値観や正義感について、もっと自分の中で考えを深めていくべきだった**と感じたな。面接でも何度か聞かれて返答に困ったし。。

とんかつ 自分は逆で、価値観や正義感について深く考えていたけど、環境政策に関する深い知識がなかった。特に**自分が詳しくない政策分野を担当している職員さんとの面接では知識不足を痛感した**。公務員試験が終わってから時間があったけど、全部を勉強することはあきらめていて、絞って勉強していたので、それはよくなかったかも。

緑茶 僕も全部を勉強することはできなかったから、深く理解して考えをもっている政策分野をどれだけ多くもてるか、ということを意識していた。でも、不安は多かった。不安だからこそ、たくさん勉強していったよ。

[12] 最後にひとこと！

緑茶 自分が後悔しないように徹底的に対策してほしい。自分自身を安心させるためにも、厳しく対策をするとよいと思う。当日は、笑顔と平常心が大事。がんばって！

とんかつ 笑顔は本当に大事。平常心は他の訪問者たちと雑談したりして保てるといいね。

焦チズケ 前提知識がなくても、熱意や自分の色を出していけば、採用してもらえるかも。興味がある人はぜひ受けよう！

ぱんだ2 個別の政策の内容について知ることも大事だけど、根本的な考えや価値観を知って、自分なりに解釈しておくことが大事だと思う。しっかり頭を使おう！

■夏季官庁訪問参加者による座談会

座談会メンバー

えだまめ	(夏) : 22歳／女性／神奈川県出身
な	(夏) : 29歳／女性／東京都出身
はなしろ	(夏) : 22歳／女性／新潟県出身
スケトウダラ	(夏) : 25歳／男性／長野県出身
青色のえび	(夏) : 22歳／女性／東京都出身

[1] 環境省や環境政策についてどのようにして調べた？

- えだまめ インターネットで調べたよ。元々プラスチックに興味があったから、「プラスチック 戦略」で検索したら官公庁の資料が出てきた。
- 青色のえび 研究でプラスチックを扱っているから調べてたの？それとも就職活動の対策として？
- えだまめ どちらかというと前者かな。プラスチックに関する研究をしていて、それで。もちろん、**官庁訪問対策としても調べていたよ**。
- 青色のえび 私は、**色々な官公庁が集まった採用イベント**が大学で実施されていて、それがきっかけで環境省に関心をもったな。その採用イベントでもらった資料を読んだり、インターネットで調べたりして、環境省について詳しくなった。あとは、**環境省Webサイト**を見て、政策分野を広く調べたり。
- な 私は環境省Webサイトにある『**環境白書**』を読んだよ。ただ、文量が多いので、興味があった廃棄物分野から読んだ。官庁訪問の最中に、職員さんから『環境基本計画』を薦められたので、官庁訪問の途中からは、それも読んだな。
- はなしろ 環境省か農林水産省で考えていたから、**採用イベントでもらった資料**や環境省が発行している資料を見ていた。たとえばパンフレットや政策説明のスライド資料とか。
- えだまめ 政策説明のスライド資料はちょうどいいよね。

[2] 官庁訪問に向けてどのような準備をした？

- はなしろ 官庁訪問直前に、**志望理由の練り直し**をしたり、政策をきちんと調べたりって感じかな。遠方からの参加だったから、電車の乗り換えを調べたりもしていた。
- えだまめ 私も志望理由を練り直して、**想定問答集**をつくっていたよ。想定質問とその回答をずっと考えて、面接の準備をしていた。志望理由で話そうと思っていた過去の経験について、どういうふうに深掘りされるかな、と考えて、どんどん掘り下げるイメージで。
- な 代表的な志望理由は、ノートに書いてまとめていたけど、想定問答は、頭の中で考えていたかな。志望理由を固めることを特に意識していた。
- えだまめ **志望理由を固めるのは大事**だね。
- スケトウダラ 想定問答については、2人と同じような感じで準備していた。自分も遠方からの参加だったので、**東京のホテルの予約は、総合職試験の合格発表を見た後、すぐにした**覚えがある。
- はなしろ 交通手段の予約も一緒にした？
- スケトウダラ いや、新幹線で東京まで移動したので、直前に予約しても大丈夫だった。
- な 官庁訪問が何日で終わるかわからないから、ホテルは、とりあえず最後まで残る前提で予約した？
- スケトウダラ うん、**最終クールまで残る前提で予約**した。最終クール分まで予約したことで、自分を追い込んで気合いを入れていた。そこは**妥協しない方がよい**と思う。
- 青色のえび 私は、面接対策ではみんなと同じように**志望理由の練り直し**をした。自分の志望理由と環境省の政策との間の共通点とか環境省の考え方で共感できるとかを見つける、ということを意識していたな。
- はなしろ 自身の長所や経験について話す練習はした？官庁訪問前の直近の面接が5月で覚えていたから、私は練習しなかったけど。
- えだまめ 私は、4月下旬に総合職試験の人事面接があったけど、何も覚えていなかったの、あらためて練習したよ。

[3] 採用イベントへの参加経験が官庁訪問に活かされたことはあった？

青色のえび

初めて参加した説明会で話していた職員さんが、官庁訪問の第2クールでの面接官だったな（笑） 説明会でもらった資料をもっていたし、知っている職員さんだったので、十分落ち着いて面接に臨むことができてよかった。

な

私もオンラインでの採用イベントで登壇していた職員さんが面接官だったときがあって、採用イベントで話していた内容を基にしつつ、面接で深く話すことができてよかった。

えだまめ

私は採用イベントにほとんど参加していなくて全然知識がない状態ではじまったので、**採用イベントには参加しておいた方がよかったかな**って。官庁訪問申込票には、はるか昔の採用イベントのことをがんばって思い出して書いた（笑）

スケトウダラ

自分は何回も採用イベントに参加していたので、逆に官庁訪問中に新鮮な内容を聞くことができず、あまり盛り上がらなかったこともあったかな。**官庁訪問中の成長**を見られているという話があるけど、説明会で知りすぎると官庁訪問中に成長できないような気がした。当日、色々な話を聞いて楽しめるように、ほどほどに採用イベントに参加するというのも大事だと思う。

えだまめ

私は、全然参加していなかったから、官庁訪問での説明全部が目新しい内容だったよ。全部に興味をもてて、かえってよかったかも。でも、流石に1回くらいは参加した方が雰囲気を知るという点で良いと思う。

はなしろ

たくさん参加したけど、普段の勉強の息抜きとして参加することも多かったな。採用イベントでもらった資料を見たり、他の参加者が質問した内容を聞いたりして、結構参考になったよ。



[4] 他省庁の官庁訪問と比較してどのような印象をもった？

- はなしろ 併願した農林水産省では、原課面接が評価に関係しないという感じだったけど、環境省は、**毎日が原課面接であり人事面接であるような感じがした**かな。
- 青色のえび 水産庁でも似たような感じで、原課面接と人事面接は明確に違う感じがしていた。
- な 原子力規制庁を受けた印象だと、環境省と似ていたかも。でも、環境省は、当日のスケジュールを教えてくれなかった。
- スケトウダラ 経済産業省と水産庁を併願したんだけど、その2つと比較すると、環境省の職員さんは、穏やかな人が多い印象だった。各省庁には、それぞれのイメージ通りの雰囲気があった。環境省は、政策の幅が広いこともあって、それぞれが幅広く仕事をしているという印象もあったかな。
- えだまめ 併願した水産庁は、アットホームな印象だったけど、それと比べると、環境省では明確に職場という印象があった。
- スケトウダラ 確かに、少数精鋭のコミュニティの雰囲気を水産庁では感じた。大学の研究室みたいな雰囲気が近いかも。
- はなしろ 併願した省庁では、面接回数が少なくて待機時間が長い印象があったけど、環境省は、たくさん面接させてもらえた。
- 青色のえび 他省庁と比べて、**環境省では原課面接の回数が多くて**、たくさんの職員さんから話を聞くことができたし、よく見てくれていたと思う。お互いによく知ることができて良かったかなって。

[5] 民間企業の採用面接と比較してどのような印象をもった？

- スケトウダラ 総合職試験の対策に時間がかかるということも含めて、全体的に**民間企業の就職活動よりも多くの時間が必要**だったかな。
- 青色のえび 官庁訪問では何回も面接があるから、民間企業と比べて、色々な人と会えて色々な話ができる。民間企業では、その企業のことをしっかりと調べたうえで面接を受ける必要があるけど、環境省は、多少知らない部分があったとしても、**官庁訪問中の成長があれば高く評価される**という点が大きな違いだね。
- な 官庁訪問は、一対一で職員さんと話すから、会話のキャッチボールがしやすいよね。終盤のクールでは、一対三での面接もあって、民間企業の面接と似ていることもあった。
- はなしろ 地方公務員も受けたけど、地方公務員の方が現場に近い話が多かった気がする。実際に働いて生活する人たちのことを意識した内容が多かった。

[6] 対面とオンラインでどのような違いがあった？

- はなしろ オンライン形式では画面越しになるから、目線を決めることが難しかったな。。カメラを見て話していたので、画面に映った職員さんの反応を見ることが難しかった。。
- な 私はカメラを全然見ずに、画面に映った職員さんを見て話していた。あと、オンライン形式だと対面形式と比べて不利になると思っていたけど、実際の内定の結果を見る限り、夏組の内定者のうち半分以上が第1クールでオンライン形式の訪問者だったから、**形式による有利不利はない**みたいだね。
- はなしろ あと、オンラインだと原課面接で聞いて知らなかったことを、待機時間に人目を気にせず調べることができたことはよかった。
- な **待機時間が自由**だったから、**対面形式と比べて気楽**だったよね。面接中にカンニングペーパーを見やすかったこともよかった。対面形式だとなかなか見にくいけど、オンライン形式だと画面の近くに置いておけば簡単に見ることができるし。
- はなしろ そうそう。面接の待機時間に息抜きすることができて、緊張をほぐせたのもよかったかな。でも逆に、**スケジュールが全然読めなくて緊張すること**もあった。そういえば、**面接中にオンライン形式での参加を選んだ理由について聞かれた**こともあったね。
- な オンライン形式は、基本的には遠方からの訪問者向けだけど、私は現職の仕事の都合があったから、それを伝えたら柔軟に対応してもらえた。これで**不利になることもない**だろうから、事情をしっかりと伝えておくことは大切だと思う。

[7] 何時に到着して何時に解散した？

- な **集合時刻は、毎日違っていた**と思う。
- はなしろ 第1クールでオンライン形式の人は、朝9時半に集合だった。第2クールでは8時半だったけど、第3クールでは14時だったね。第4クールは、朝10時に集合だった。
- な ずっとはなしろと同じ集合時刻だったね（笑）
- はなしろ 私は、いつもギリギリで10分前くらいに到着していたと思う（笑）
- 青色のえび 20分前には到着できるようにしていたけど、**人身事故**の影響で電車が止まって、2時間くらい遅れて到着したこともあった。。
- えだまめ 心配性だから30分以上前には霞ヶ関駅に到着して、駅のホームでお菓子を食べて時間をつぶしていたよ。
- 青色のえび **解散は、だいたい17時から18時までの間**くらいだったと思う。
- えだまめ 同じくらいの時間だった。
- な 確か第3クールも、同じような時間帯に終わったはず。

[8] どのような服装・持ち物で訪問した？

- 青色のえび 毎日**スーツ**を着て訪問した。第1クールは、長袖シャツでジャケットを着て訪問したけど、第2クールでは半袖シャツで訪問した。
- えだまめ 一応、**長袖シャツ**を着て訪問して、けど暑かったからジャケットを手にもっていたな。
- はなしろ 私はそもそもジャケットをもっていかなかったの、着たくても着られない状況だった。**待機室の冷房が寒くても**、着ることができない日があつて。。
- な 私は、**半袖シャツにジャケット**を着て訪問したかな。
- はなしろ みんなはパソコンをもっていって？
- な **官庁訪問対策のメモをパソコンでまとめていた**ので、もって行って確認していたよ。他には筆記用具と飲み物をもって、あと、お菓子をもっていって。
- えだまめ メールで面接の連絡があるので、**スマホは必須**だね。私はもっていくことを忘れて、行く途中で家まで取りに帰った日があった。あと、前髪を留めて訪問したけど、留めていない人もいてそこは自由だったね。
- 青色のえび 他だと、**官庁訪問ノート**をつくっていて、それをもっていって。他省庁で聞いた話も書き込んで、参考にしていた。あとはメールで面接の連絡が来るので、**モバイルバッテリー**をもつてよかった。
- はなしろ 私の場合は就活力バンにそれほど物が入らないので、必要最低限の物しかもって行ってなかったな。移動中に音楽を聴くためにイヤホンをもつて行ってたけど、**気晴らし**になってよかった。
- えだまめ あと、スーツの埃を取るブラシをもつて行って。

[9] 面接ではどのようなことに気を付けていた？

- な **ゆっくり話す**ことを意識しつつ、自分が話した内容をちゃんと自分が理解しながら話すようにしていたかな。あと、忖度せずに**思ったことを率直に**話すようにしていた。意見を我慢して採用されても採用後に困るので、最初から率直に言おうかなって。
- 青色のえび 私は相手の**目を見て話す**ことを意識した。目を見ることが恥ずかしいときは、眼鏡や目の周辺を見るようにしていた。

えだまめ 特に原課面接では職員さんに質問する時間があるので、話を聞きながら、**疑問点があればメモ**しておくなど、すぐに質問ができるように質問事項を貯めていたかな。

はなしろ 第一印象が大事だと思ったので、**なるべく笑顔**でいるようにしたら採用担当官に「余裕ですね」と言われたけど、全然余裕ではなかった（笑）政策内容以外だと、自分の研究の話で盛り上がった時にはそのまま盛り上がりを持続できるように意識して話していた。

[10] 面接間の空き時間は何をしていた？

えだまめ **お菓子**を食べたり、同じテーブルの人と話したりって感じかな。あとは、**官庁訪問ノートに面接の内容をまとめたり**もしていた。

青色のえび お菓子は大事だね。

えだまめ 頭に糖分を入れる！

な それで言うと、甘い飲み物を飲みたいときとお茶を飲みたいときがあるので、いつも2種類の飲み物をもっていった。

青色のえび あと、同じテーブルの人と研究の話もしていたな。自分の研究分野と似たような話から、まったく異なる分野の話まで、色々な話ができて楽しかった。

はなしろ 出身地もバラバラなので、全国各地の話もできたね。原課面接の内容の振り返りもして、そのたびに志望理由を練り直していた。

な 出口面接でその日の振り返りを必ず聞かれるので、そのためにも、**面接の振り返り**をしていた。

[11] どのようなところが高く評価されたと感じた？

青色のえび 入口面接と出口面接で、それぞれ成長が見られているように感じた。出口面接で「論理的に話せている点がよかった」と実際に言ってもらえた。

はなしろ 入口面接と出口面接で採用担当官と議論する時間があって、そのときにうまく答えられなかった部分の助言をもらうことができた。その後の面接で、**助言をすぐに活用**できたことはよかったかな。

えだまめ 出口面接で「楽しそうだったね」と言われた。目新しい内容ばかりでおもしろかったので、興味をもって面接を受けられたことはよかったと思う。たくさん質問をして、質問に対して「いいね」と言ってもらえたこともあった。**興味をもちつつ、自分で考えたうえでの質問ができる**とよいと感じた。あと、質問に加えて、自身の意見を言うことは大事だと思う。説明された内容を鵜呑みにするのではなくて、**自分の意見**も入れて話せるとよいと思う。

青色のえび 他にも面接中のやり取りだと、説明された内容の中から、具体的な事柄を挙げて質問できるとよさそう。

はなしろ 逆質問の場で議論をできたことはよかったかも。

な 私は、経歴が他の人とは異なるので、入口面接で「学生の訪問者とは異なる評価基準になるだろうと思います」と言われた。**現職の仕事を通じて考えていたことをしっかり話すことができた**点は、高く評価されていたように感じた。

[12] どのようなところが不足していたと感じた？

な **体力面**について大丈夫かどうか聞かれた。スポーツの経歴がなかったし、見た目も運動してなさそうな雰囲気だと心配される笑

はなしろ 体力面については、私も聞かれた。

な 聞かれたときは「ジムには通っています」とだけ答えた。

はなしろ **ストレス**を感じる場面について聞かれたけど、すぐには思いつかず回答できなかった。ストレス耐性については、低評価に直結するような回答をしないように慎重に考えてしまった。

青色のえび 「**専門分野以外の環境問題に興味をもてるか**」という質問に対して、最初の方の面接ではうまく答えられなかった。

えだまめ 同じく、専門分野以外の興味についての質問にはうまく答えられなかった。日頃、新聞を読むという習慣がなかったので、環境問題に関する**ニュースなどを日頃から**見ていたらもっと深く議論できていただろうなと。

青色のえび 語学力について質問されたけど、特に資格をもっていなかったのも、事前にとっておけばよかったなと感じた。資格や成績をもっていた方が、自身の長所に説得力がつくと思う。

えだまめ 同じく、**語学試験を早めに受けておけばよかった**と思った。



[13] 最後にひとこと！

- 青色のえび** 元々、環境省が第一志望ではなかったけど、官庁訪問を通じて色々なことを知っていく中で、魅力的に思うところが増えて**志望順位が上がった**。環境省に少しでも興味があれば、官庁訪問に参加してほしい。
- えだまめ** **官庁訪問中は、たくさんの学びがあるので、楽しみながらどんどん吸収していくことができたらいと思う！がんばってください！**
- はなしろ** 官庁訪問は、**官庁と訪問者のマッチングの場**でもあるので、政策分野に興味をもてるかどうかだけでなく、**職場としての雰囲気合うかどうか**も見てみるとよいと思うよ。官庁訪問を通じた伸びしろが見られていると思うし、志望理由を固めつつ、たくさん議論できるように準備して臨んでほしい。
- な** 実際に政策をつくって扱っている人と話せる貴重な機会だと思うので、**自分の意見**をしっかりとって議論を楽しめるようにすれば、自ずとよい結果につながると思う。

おわりに

ここまで読んでいただきありがとうございます。いかがだったでしょうか。

本書は構成から内容まで、環境省の先輩職員の方々からの協力をいただきつつ、内定者が主体となって制作されました。一人一人のプロフィールや生の声に焦点を当てて、就活生にとって身近な就活本になるよう努めました。私たちがどのように試験対策に取り組み、試行錯誤し、どのような考えをもって環境省を目指したのか、皆さんが環境省を将来の選択肢の1つとして考える際に少しでも役立てていただけたらと思っております。

この「内定者の声」は、次に環境省を目指す皆さんへの私たち内定者からのバトンです。私たちとともに、環境行政の最前線に立って日本、そして世界の未来を作っていきませんか？内定者一同、皆さんをお待ちしています！

2025年2月 環境省総合職理工系 内定者一同